

# 資料編

※本資料編における住民協議会に係る掲載内容は令和6年3月時点のもの。

## 資料編

### 1 コミュニティ住区と住民協議会

#### 1.1 大沢

##### (1) 大沢住区

大沢住区は、市の西南部に位置し、北側に国際基督教大学、工場などがあり、南西側に調布飛行場や都立野川公園などがあります。野川沿いには湿性花園や水田があり、湧水の存在がわさび田やホタルの育成を可能としています。住区のほぼ中央部には、広大な緑地を持った国立天文台などがあり、大沢の市街地は、その周りを馬蹄形に広がるように発展してきました。

##### (2) 大沢住民協議会

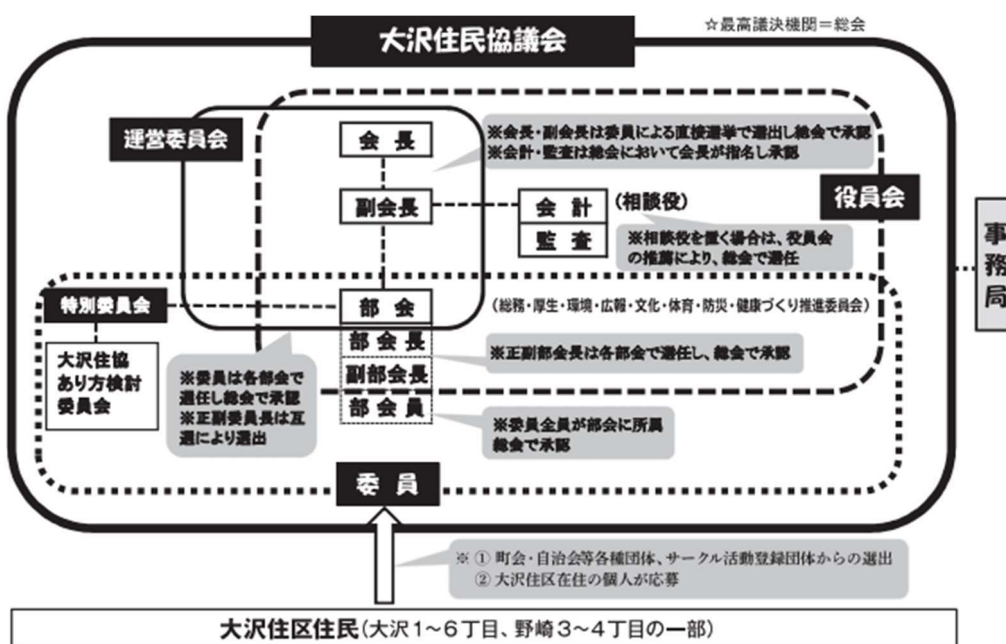
所在地：三鷹市大沢 4-25-30

設立：昭和48年11月12日

管理施設：大沢コミュニティ・センター

昭和48年11月、三鷹市で最初の住民協議会として発足。コミュニティ・センターの自主管理の先駆けとなり、新たな住民自治の実験として、他都市や海外からも注目を集めました。

7部会（総務・厚生・環境・広報・文化・体育・防災）から構成され、コミュニティ・センターの管理運営は運営委員会が担当しています。大きな行事としては、コミュニティ祭、スポレクフェスティバル、コミュニティ音楽会、水上フェスティバルなどがあります。



## 1.2 牟礼

### (1) 東部住区

東部住区は、牟礼と北野の全域、新川の一部で構成された地域で、緑地や農地などが多く残されており、住宅地としては緑の環境に恵まれています。住区内には、日本初の公営住宅団地である牟礼団地をはじめ、三鷹台団地などの団地と農地などが混在しています。ふれあいの里の一つである「牟礼の里」や、史跡として三木露風の墓（大盛寺）があります。

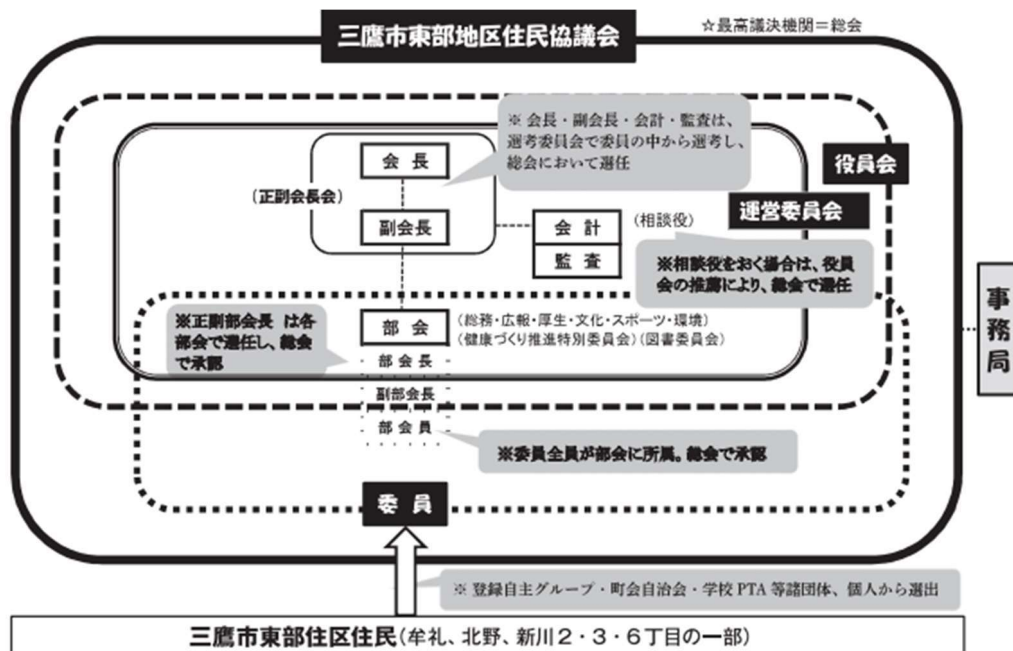
### (2) 三鷹市東部地区住民協議会

所在地：三鷹市牟礼 7-6-25

設立日：昭和 53 年 1 月 21 日

管理施設：牟礼コミュニティ・センター

住民協議会は総務、広報、厚生、文化、スポーツ、環境の 6 部会で構成されており、それぞれが年間を通して計画的に事業を推進するほか、コミュニティまつりやスポレクなどの大きな事業については、部会だけでなく各組織団体からもあらためて実行委員を募り、行事ごとにテーマを決め、積極的に事業を進めています。



### 1.3 井口

#### (1) 西部住区

西部住区は、農地や隣接する国際基督教大学などの豊かな自然環境と調和を図りながらまちづくりを進めています。地域の中には多くの農地があり、人見街道のけやき並木とともに比較的緑の多い良好な住宅地域で、ふるさと「みたか」の風景を残しています。また、住区の四方を東八道路、連雀通り、天文台通り、武蔵境通りに囲まれており、幹線道路沿道のにぎわい創出と後背地の住環境との調和を図ることが求められています。

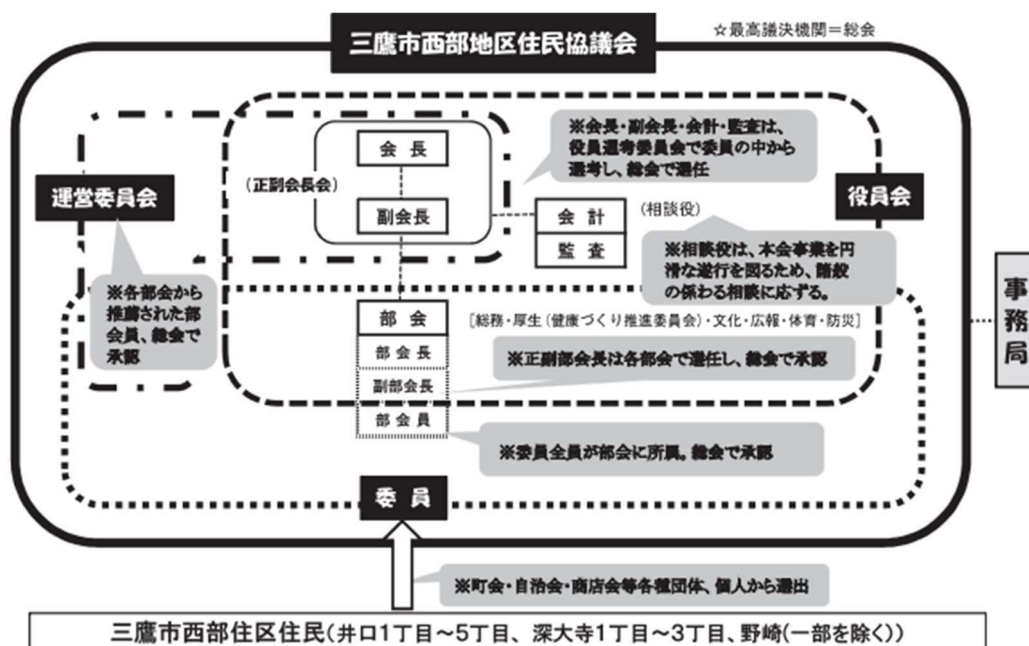
#### (2) 三鷹市西部地区住民協議会

所在地：三鷹市井口 1-13-32

設立日：昭和 53 年 11 月 26 日

管理施設：井口コミュニティ・センター

住民協議会は総務、厚生、体育、広報、文化、防災の 6 部会から構成され、特に防災については会長が自主防災組織を統括しています。また、平成 21 年には地域ケア・ネットワーク事業として、地域に暮らす多世代の方々が気軽に立ち寄れるふれあいの居場所「地域のほっと♥スペース よってらっしゃい・にしみたか」をスタートさせました。住民協議会主催の行事では、コミュニティまつりやコミュニティ運動会等が特に人気があります。



## 1.4 井の頭

### (1) 井の頭住区

井の頭住区は、都立井の頭恩賜公園を含む市の北東に位置しています。京王電鉄井の頭線が、公園と神田川に沿って走り、吉祥寺駅にも近く、都心への通勤等の交通利便性が高い地域です。また、玉川上水と神田川に挟まれた住区は、閑静な住宅街を形成しており、井の頭弁財天や玉川上水など散策に好適な場所が多いことが特徴です。

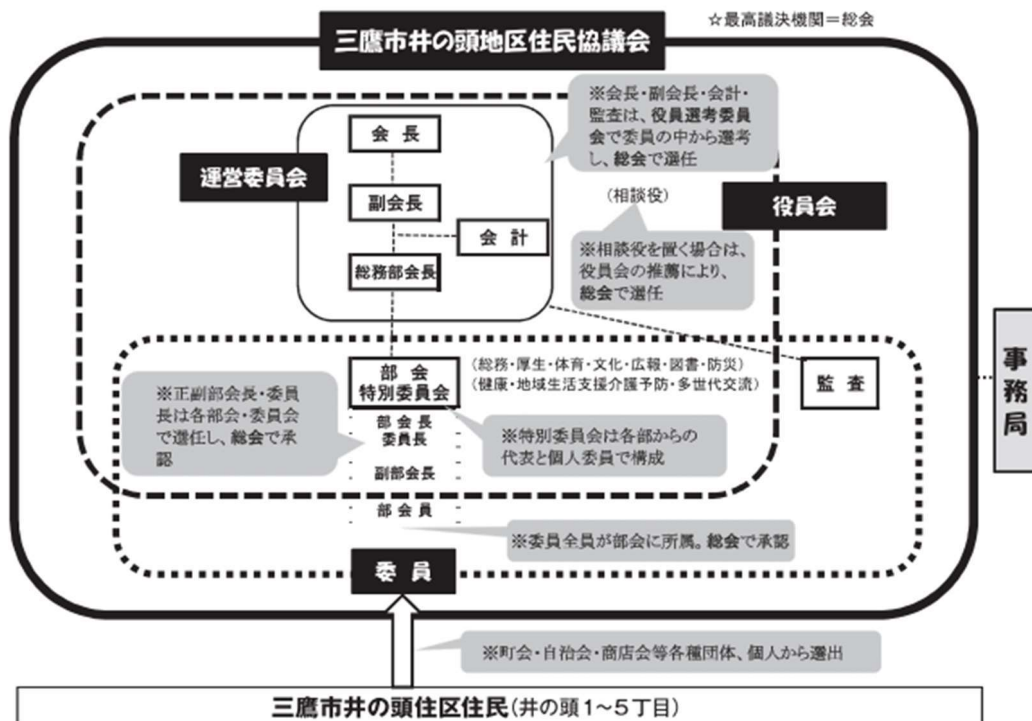
### (2) 三鷹市井の頭地区住民協議会

所在地：三鷹市井の頭 2-32-30

設立日：昭和 54 年 12 月 4 日

管理施設：井の頭コミュニティ・センター

住民協議会は、総務、厚生、体育、文化、広報、図書、防災の 7 部会から構成され、平成 25 年からは、多世代交流委員会を立ち上げ、放課後の子どもの居場所作りや地域の学校との連携に力を入れています。平成 29 年度には、図書室と市立図書館との連携により、図書館のシステムを導入し、双方の蔵書の貸出が可能になるとともに、事業の充実など利用者サービスの向上を図りました。



## 1.5 新川中原

### (1) 新川中原住区

新川中原住区は、市の南東部に位置し、住宅街が広がっています。新川のほとんどの地区と中原の全域からなり、住区の中央部には中央自動車道が東西に横切っています。また、仙川が南東方向に流れており、周辺からは、多くの遺跡が発掘されています。市では、仙川と丸池を中心に「丸池の里」の整備を行っています。

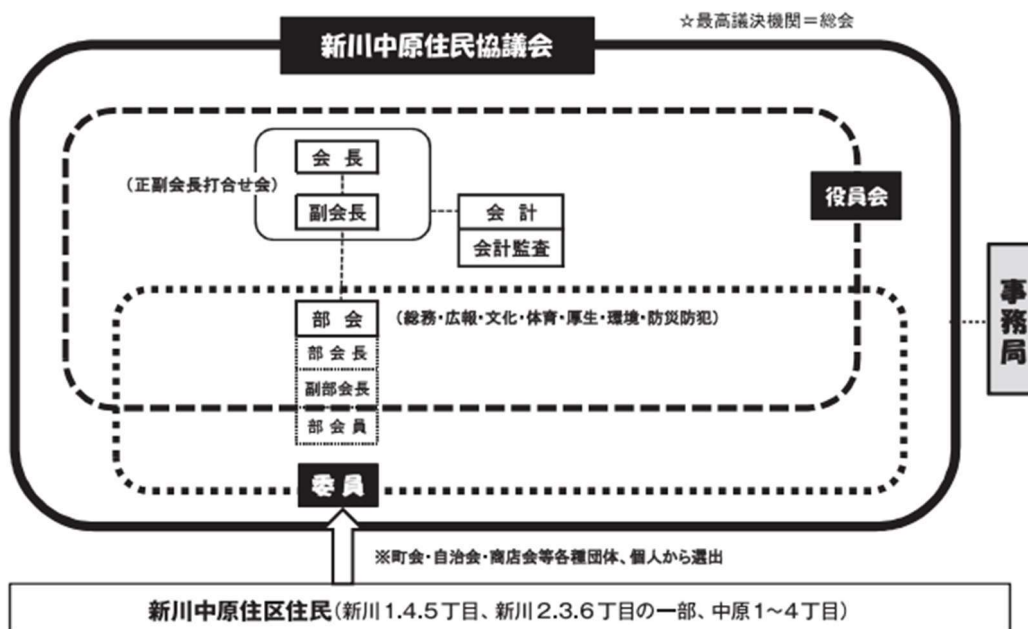
### (2) 新川中原住民協議会

所在地：三鷹市新川1-11-1

設立日：昭和56年11月29日

管理施設：新川中原コミュニティ・センター

住民協議会は、総務、広報、文化、体育、厚生、環境、防災防犯の7部会から構成され、通常の組織活動のほか、必要の都度、特別委員会を設置し、活動を展開しています。住民協議会の三大事業として行われるコミュニティまつり、コミュニティ盆踊り大会、コミュニティ運動会には、毎年、大勢の地域の方々が参加しています。また、音楽サロン、フリーマーケットや大迷路などを開催しています。



## 1.6 連雀

### (1) 連雀住区

連雀住区は、市の中心部に位置し、市役所をはじめ多くの公共施設や教育施設が点在し、交通の便もよく、生活上の利便性の高い地域です。都営住宅やマンションなどの集合住宅が多いことも特徴の一つで、住区内には三鷹市芸術文化センター、太宰治や森鷗外の墓のある禅林寺があります。

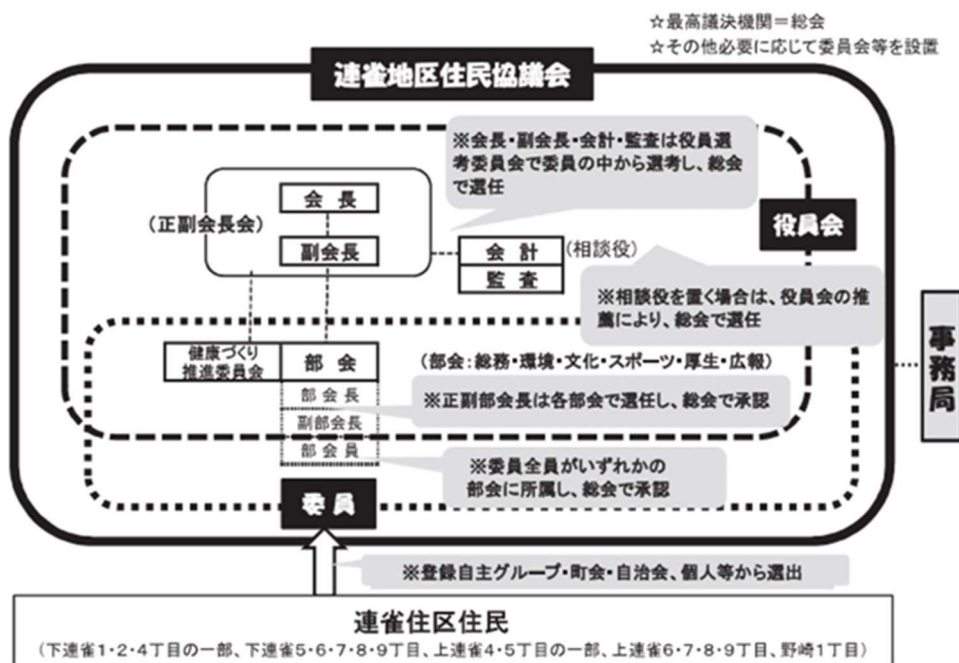
### (2) 連雀地区住民協議会

所在地：三鷹市下連雀 7-15-4

設立日：昭和 59 年 1 月 24 日

管理施設：連雀コミュニティ・センター

住民協議会は、総務、環境、文化、スポーツ、厚生、広報の 6 部会と防災対策特別委員会などにより構成されています。特に、防災対策では、地域の防災を担う立場から、毎年、趣向を凝らした防災訓練を実施し、幅広い世代を対象とした防災意識の向上を目指しています。また、「望ましい住協検討委員会」において、これまでの活動の見直しと課題について協議し、今後の事業展開に向けた検討を行っています。





## 1.7 三鷹駅前

### (1) 三鷹駅周辺住区

三鷹駅周辺住区は、市の玄関口である三鷹駅があり、本市で最も人口密度が高い地域です。駅前地域は、市の商業の中心ですが、同時に地域の大部分は密集した住宅街であり、住居と商業の混在が、住区の複雑な土地利用の性格を形作っています。病院や商店は市内で最も集中しており、駅に近いこともあって生活の利便性が高い地域となっています。また、玉川上水・山本有三記念館・三鷹の森ジブリ美術館・三鷹市美術ギャラリー・太宰治文学サロン・みたか井心亭もあり、自然環境と文化施設にも恵まれた地域です。

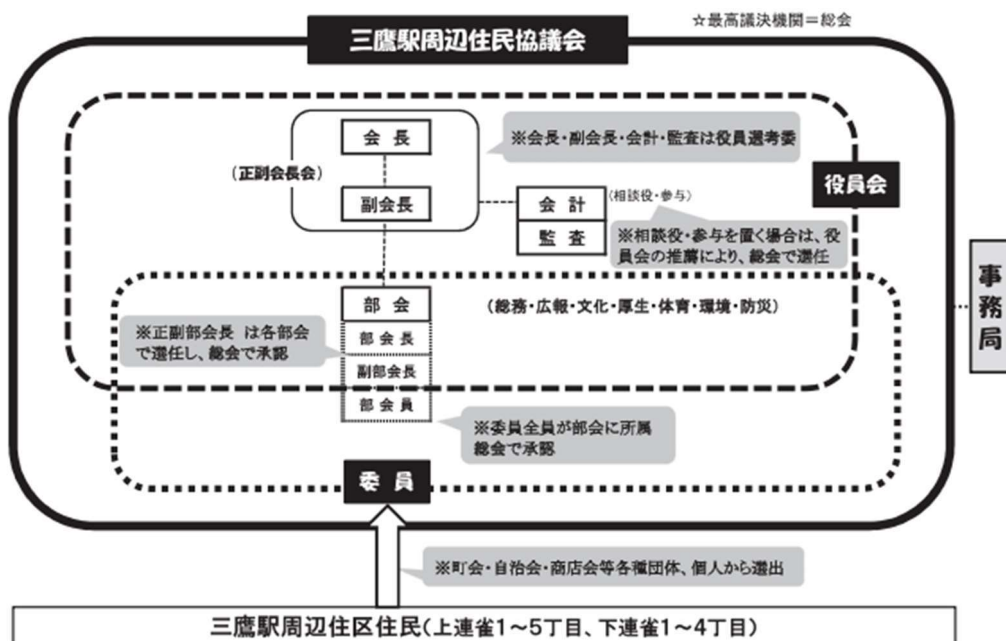
### (2) 三鷹駅周辺住民協議会

所在地：三鷹市下連雀 3-13-10

設立日：平成5年7月12日

管理施設：三鷹駅前コミュニティ・センター

総務、広報、文化、厚生、体育、環境、防災の7つの部会で構成され、講習会や講演会の開催をはじめ、市内外の施設見学会やスポーツ大会の実施、広報誌の発行等、コミュニティの醸成のため、各部会が一年をとおして様々な事業に精力的に取り組んでいます。「ささえあおう！心でつなぐコミュニティ」をテーマに年一回開催するコミュニティまつりや、2～3月と4～5月にコミュニティ・センター1階ロビーに所狭しと展示する「ひな飾り展」と「五月人形展」はたくさんの人で賑わい、コミュニティ・センターの風物詩となっています。





## 2 住民協議会・コミュニティ・センターの歩み

年月	市の動き等
昭和46年2月	「コミュニティ・センター建設構想」を発表
昭和47年11月	大沢コミュニティ・センター着工
昭和47年12月	大沢コミュニティ研究会が発足
昭和48年11月	大沢住民協議会が発足
昭和48年12月	大沢コミュニティ・センター竣工
昭和49年1月	三鷹市コミュニティ・センター条例が議決
昭和49年2月	大沢コミュニティ・センターが開館
昭和49年8月	井口地区コミュニティ研究会が発足
昭和49年12月	牟礼コミュニティ研究会が発足
昭和52年3月	牟礼コミュニティ・センター着工
昭和53年1月	三鷹市東部地区住民協議会の発足
昭和53年3月	井口コミュニティ・センター着工
昭和53年4月	牟礼コミュニティ・センターが開館
昭和53年8月	旧井の頭文化会館をコミュニティ・センターに建替えることで井の頭住民と協議
昭和53年10月	基本計画を策定（近隣住区及びコミュニティ住区の設定）
昭和53年11月	井の頭地区住民協議会設立準備委員会が発足
昭和53年11月	井の頭コミュニティ・センター分館着工
昭和53年11月	井口住民協議会が発足
昭和54年4月	井口コミュニティ・センターが開館
昭和54年5月	牟礼コミュニティ・センター体育館、プール竣工
昭和54年10月	井の頭コミュニティ・センター分館（現：井の頭地区公会堂）が開館
昭和54年11月	第1回コミュニティ・カルテの取組が始まる
昭和54年12月	三鷹市井の頭地区住民協議会発足
昭和55年1月	住民による地域診断「コミュニティ・カルテ」市内7住区で開始
昭和55年2月	井口コミュニティ・センター体育館竣工
昭和55年7月	連雀地区コミュニティ研究会が発足
昭和55年12月	新川中原コミュニティ・センター着工
昭和56年1月	新川中原住民協議会設立準備委員会が発足
昭和56年6月	第1回コミュニティ・カルテ報告書が市長に提出される
昭和56年11月	新川中原住民協議会が発足
昭和57年4月	新川中原コミュニティ・センターが開館
昭和58年3月	連雀コミュニティ・センター着工
昭和58年5月	連雀地区住民協議会設立準備委員会が発足

年月	市の動き等
昭和 58 年 6 月	井口地区住民協議会が「三鷹市西部地区住民協議会」に名称変更
昭和 59 年 1 月	第 2 回コミュニティ・カルテの取組開始
昭和 59 年 2 月	新川中原コミュニティ・センター体育館・プール竣工
昭和 59 年 6 月	連雀コミュニティ・センターが開館
昭和 59 年 7 月	第 2 回コミュニティ・カルテ報告書が市長に提出される
昭和 60 年 5 月	駅前周辺住区コミュニティ・センター取組開始
昭和 61 年 6 月	井の頭コミュニティ・センター本館着工
昭和 62 年 6 月	井の頭コミュニティ・センター本館が開館
昭和 63 年 1 月	第 3 回コミュニティ・カルテが市長に提出される
昭和 63 年 5 月	第 3 回コミュニティ・カルテ第 2 ステップ「まちづくりプラン」取組開始
昭和 63 年 8 月	駅前周辺住区コミュニティ準備研究会発足
平成元年 7 月	各住民協議会から「まちづくりプラン」最終報告書が市に提出される
平成元年 11 月	第 3 回コミュニティ・カルテ最終報告書「まちづくりプラン」発行
平成 2 年 7 月	「コミュニティ施設有料化検討委員会」で市と住民協議会がコミュニティ・センターの有料化について検討を始める
平成 4 年 7 月	コミュニティ・センターのプールとテニスコートが有料となる
平成 5 年 4 月	コミュニティ住区ごとに自主防災組織が結成され、コミュニティ・センターを拠点とした防災活動を始める
平成 5 年 4 月	駅前周辺住区住民協議会設立準備委員会が発足
平成 5 年 7 月	三鷹駅周辺住民協議会が発足
平成 5 年 12 月	三鷹駅前コミュニティ・センターが開館
平成 11 年 5 月	「みたか 21 世紀市民プラン検討会議（仮称）準備会」発足
平成 11 年 10 月	「みたか市民プラン 21 会議」発足
平成 12 年 10 月	「みたか市民プラン 21 会議」から提言書「みたか市民プラン 21」が市に提出される
平成 15 年 9 月	三鷹市市民協働センター条例議決
平成 15 年 12 月	三鷹市市民協働センター開設
平成 16 年 10 月	地域ケアネットワーク・井の頭設立
平成 17 年 4 月	井の頭コミュニティ・センター新館開館
平成 17 年 9 月	三鷹市自治基本条例が議決
平成 18 年 4 月	各住民協議会がコミュニティ・センターの指定管理者となる
平成 18 年 4 月	第二中学校区小・中一貫教育校「にしみたか学園」が開校
平成 19 年 4 月	がんばる地域応援プロジェクト（三鷹市地域自治組織活性化事業）開始
平成 20 年 4 月	小・中一貫教育校が新たに 3 園開園（連雀学園・東三鷹学園・おおさわ学園）
平成 20 年 7 月	地域ケアネットワーク・新川中原発足

年月	市の動き等
平成 20 年 10 月	NPO 法人みたか市民協働ネットワーク設立
平成 20 年 12 月	市と NPO 法人みたか市民協働ネットワークとのパートナーシップ協定締結
平成 21 年 2 月	地域ケアネットワーク・にしみたか設立
平成 21 年 9 月	鷹南学園（中原小、東台小、五中）開園、市立の全小中学校が小・中一貫教育校化
平成 23 年 3 月	地域ケアネットワーク・東部設立
平成 25 年 3 月	連雀・地域ケアネットワーク設立
平成 26 年 3 月	三鷹駅周辺・地域ケアネットワーク設立
平成 27 年 2 月	地域ケアネットワーク大沢設立 ※すべてのコミュニティ住区に地域ケアネットワークが展開
平成 29 年 7 月	井の頭コミュニティ・センターが図書室をリニューアルし、市立図書館との連携を開始
令和 2 年 3 月	東京都行政書士会武鷹支部と「三鷹市における町会等地域自治組織の持続可能な発展に向けた支援に関する協定」を締結
令和 3 年 7 月	三鷹市市民参加でまちづくり協議会（愛称：Machikoe（マチコエ））活動開始
令和 3 年 11 月	市民参加のための活動拠点施設「Machikoe（マチコエ）」がオープン
令和 4 年 3 月	「これからのコミュニティのあり方に関する基本的な考え方」策定
令和 4 年 7 月	井の頭東部地区公会堂にてインターネット予約・スマートロックの試行導入を開始
令和 4 年 8 月	「コミュニティ創生基本方針策定に向けた議論のための論点整理」策定
令和 4 年 12 月	2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言
令和 4 年 12 月	三鷹市新都市再生ビジョンを策定
令和 5 年 7 月	マチコエから政策提案「未来のまちづくりアイデア集」が市に提出される
令和 6 年 3 月	三鷹市コミュニティ創生基本方針策定





三鷹市コミュニティ創生基本方針  
三鷹市 生活環境部 コミュニティ創生課  
電話 0422-29-9611 (直通)